

当事者または利害関係人から申請があると、原則として、申請者にお見せしたり(「閲覧」と言います。)、コピーを認める(「謄写」と言います。)ことになります。

【家計状況説明書】 令和 年(季)第 号(期日 令和 年 月 日 午前 午後)

※ 話し合いを円滑に進めるため、本書面の記入にご協力ください。

令和 年 月 日 提出者 印

養育費、婚姻費用分担の算定の基礎となる家計の状況について、おたずねします。

記入していただいた内容は、本件を進行させる上で、重要な資料となりますので、記載例を参考にして、漏れなく、該当箇所に記入するようにしてください。また、記入した箇所について、**必ず、計算の基礎となる資料(源泉徴収票、確定申告書控等)のコピーを添付してください。**

1 収入

- (1) 原則として、源泉徴収票等を参考とし、直近の1月から12月までの1年間の給与の平均を記入してください。
- (2) 年度途中からの就職や収入に大きな変動があったときは、最近3か月の給与の平均を記入してください。
- (3) その他の収入とは、営業収入や農業収入、不動産収入、配当収入、副業収入等を指します。

費目	月額	備考	資料番号
給与収入(税引き前)			
会社名		<input type="checkbox"/> 年間支給額 円(源泉徴収票)を12(か月)で割った額 <input type="checkbox"/> 令和 年 月から令和 年 月までの支給額の平均	
その他の収入(経費控除前)			
種別		内容	
種別		内容	
年金・公的手当			
種別			
種別			
親族等からの扶助			
誰から			
合計			

2 特別な支出

通常、一般的な生活において必要となる食費、光熱費、被服費、通信交通費等を除いて、あなた個人の特別な事情として考慮してほしい費目があれば、ご記入ください。ただし、考慮の要否は、調停においては調停委員会、審判においては裁判官が判断することになります。

- 特になし
 以下のとおり

費目	月額	備考	資料番号
医療費等			
住居費等	住居費	家賃 円 共益費 円 駐車場 円	
	住宅ローン	月 円, 賞与時 円(月), 円(月)	
教育費	授業料・保育料	学校名等	
その他考慮してほしい費目	月額	理由	
その他			